

記帳所を設置しています

市では、弔問に対する記帳所を設置しています。

期間／8月21日(金)まで(土曜・日曜日を除く)

時間／午前8時30分～午後5時15分

場所／市役所1階ロビー、各総合支所

酒田市長 故本間正巳氏の合同葬

本間氏のご逝去を悼み、合同葬(本間家と市の合同葬儀)を執り行います。

日時／8月22日(土)午前10時～

場所／希望ホール

◆当日は、ご香典、ご供物はお受けしかねますので、ご了承ください。

園市総務課 ☎26-5702

●魅力ある農林水産業へ向けた取り組み

魅力ある農業を実現するため、本市独自の農地集積センターを核とした利用集積を促進するとともに、集落営農組織の法人化に向けた支援の強化を図った。

園芸では、園芸特産化支援センターを設置し園芸作物の拡大を図るとともに、市独自で「酒田まめほの香(もち米)」と「あねちゃまめ(枝豆)」を開発した。また若手女性農業者の交流・学習の機会の創出などに積極的に取り組んだ。

さらに森林所有者の意欲を喚起し間伐材の搬出を促進する事業に新たに取り組むなど、酒田産材の利用拡大を推進した。また平成28年度に開催される「全国豊かな海づくり大会」の式典会場を誘致するとともに、大会成功に向け準備活動、機運醸成に取り組んだ。

●人口減少問題への積極的な取り組み

平成25年3月の社会保障人口問題研究所の将来推計人口の発表を受け、他団体に先駆けて人口減少問題に対して全庁的な検討をスタートした。総合的な少子化対策として結婚、妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援、若者の地元定着対策、移住促進の総合対策、就労の場の確保などの人口減少対策施策に積極的に取り組んだ。

●庄内北部定住自立圏の形成

酒田市を中心市とし遊佐町、庄内町、三川町との1市3町とで庄内北部定住自立圏形成協定を締結し、平成27年4月に具体的な連携事業をスタートさせた。

●県境を越えた新たな連携

秋田県由利本荘市、同にかほ市、遊佐町とともに、鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会を設立し、本地域の新たな魅力向上のためジオパークの認定に向けた活動をスタートさせた。また北前船寄港地の交流を機に、新たに秋田市との連携交流協定を締結し、イベントでの連携を通じて交流人口の拡大を図った。

●新庁舎の整備

平成25年11月に市の防災拠点ともなる庁舎建設をスタートさせた。この庁舎は、市民との協働の場や、にぎわい交流スペースの設置によりまち歩きの手点としての機能も期待されている。

●消防庁舎の再編、総合防災センター(仮称)の具体化

老朽化し一部津波浸水区域となる消防庁舎の再編整備と消防本署の改築に合わせた総合防災センター構想を具体化した。

●職員の意識改革、組織風土改革

若手職員による業務改善運動を後押しするなど、職員の意識改革、組織風土改革に積極的に取り組んだ。



市長定例記者会見
(平成26年12月19日)



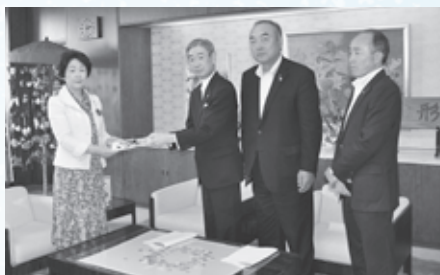
鉄道講演会
(平成27年2月4日)



被爆アオギリ二世植樹式
(平成27年6月30日)



もしえのん・あののんお披露目
(平成27年5月18日)



山形新幹線庄内延伸などを県知事に要望
(平成27年5月27日)



市立酒田看護専門学校宣誓式
(平成27年7月10日)

本間正巳酒田市長が永眠されました



7月20日午後3時48分に、本間正巳酒田市長が入院先の市内の病院でお亡くなりになりました(68歳)。

本間市長は、平成24年10月29日に酒田市長に就任以来、2年9か月にわたり市政を運営し、本市の発展のためご尽力されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

功績 (主なもの)

●大いなる飛躍に向けた社会基盤整備

○山形新幹線庄内延伸

県土の一体化を促進し山形県全体の発展につながる山形新幹線庄内延伸促進活動に積極的に取り組み、自治会連合会連絡協議会を中心に署名活動が行われるなど実現に向け大きく動き出すに至った。

○酒田港の整備、利用促進

酒田港の整備、利用促進活動に取り組み、平成25年には、山形県により2基目のコンテナクレーンが整備され、花王(株)酒田工場の新工場稼働によりコンテナ貨物が拡大し、平成26年のコンテナ取扱量は過去最高を記録した。平成27年6月には、国際定期コンテナ航路は週6便へと拡大された。

○日本海沿岸東北自動車道などの整備

日本海沿岸東北自動車道、新庄酒田道路の整備促進に積極的に取り組んだ。日本海沿岸東北自動車道については、平成25年5月に懸案だった秋田、新潟の両県境部分の事業化が決定されるに至った。新庄酒田道路の新堀-東町(国道7号)間については、平成27年の本格的な降雪期前までに開通することになった。

●賑わいと活力、雇用を生み出す産業振興

○企業誘致、地元企業支援

500人規模の新規雇用となる(株)プレステージ・インターナショナルの誘致に成功するとともに、花王(株)、東北エプソン(株)の大型設備投資などにより、本市の経済状況は大きく好転することになる。平成27年3月、酒田京田西工業団地には新たに3社が立地するに至った。

○雇用状況の大幅な改善

積極的な企業誘致、地元企業支援に加え、平成25年7月から実践型地域雇用創造事業に取り組み、長い間低迷した酒田管内の有効求人倍率は、大幅に改善し、平成25年度から26年度には多くの月で県内トップとなるなど山形県をけん引する状況となった。

○中小企業支援

平成25年6月に、市内金融機関などと連携し「酒田市中小企業支援連絡協議会」を設置、平成26年9月には、「酒田市創業支援センター」を開設し、きめ細やかな企業支援、創業支援を行った。



市長当選後初登庁
(平成24年10月29日)



酒田まつり
(平成25年5月20日)



(株)プレステージ・インターナショナル
山形BPOガーデン竣工式 (平成25年11月26日)



市長と語る さかた未来トーク
(平成25年5月31日)



庄内北部定住自立圏中心市宣言
(平成26年3月14日)